

令和8年度 施政方針 「事業の選択と集中」、「成果志向を重視した 予算・事業編成」による責任ある市政運営を推進

「施政方針」は、市長が市政運営についての基本的な考え方や重点的に取り組む施策などを市民の皆さんにお示しするものです。

市の最重要課題である人口減少は、地域の活力や行政サービスの持続性に直結する極めて深刻な問題であり、生産年齢人口の減少が今後も続くという現実を踏まえ、人口という「量」を成果として追い求める従来の発想から、市民一人一人の生活の「質」、豊かさを重視する考え方へと、政策の軸足を移していく必要があります。

私たちは今、100年・200年に一度とも言われる産業革命の渦中であって、産業や経済、さらには社会基盤が大きく転換する局面を迎えています。

こうした時代の大きな潮流を的確に捉え、後期の総合計画基本計画において重要な施策の柱として位置付けている「人口減少の抑制」、「教育環境の充実」、「稼ぐ地域づくり」、「安心して住み・働ける環境整備」を強力に推進していきます。



施政方針 6つの重点施策と主な事業

1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち

住民が地域で安心して暮らし続けるためには、コミュニケーションを促進し、互いに信頼し支え合う結びつきを強めていくことが重要です。防災機能の充実や持続可能な公共交通の構築など、安全安心に暮らせるまちづくりに向け、次の各施策に取り組みます。

① 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実

市内16地区全てに設立された住民自治組織に対し、住民自らが地域の特色や住民の力を生かし、「自助・共助」を基本とした主体的な活動を通じて、地域課題の解決に取り組めるよう支援します。 【ずっと住みたい地域づくり支援事業】

② 少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進

主な生活拠点とは別に、他の地域にも拠点を持つ多様なライフスタイルに着目し、空き家の活用や石巻市ならではの体験メニューの提供を通じて、関係人口の拡大を図るとともに、「ふるさと住民登録制度」の創設に取り組み、地域の活力向上を目指します。 【二地域居住推進事業】

③ 安心して暮らすための地域防災力などの向上

平時からの備えをより確かなものとするとともに、市民一人一人の防災意識の向上を図り、「自助・共助・公助」の役割分担を基本に、津波避難対策の強化や災害時における防災情報の発信体制の整備に取り組みます。 【防災行政無線更新事業、災害情報発信事業】

④ 誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進

困難な問題を抱える女性への支援や、性の多様性に対する理解の促進に加え、パートナーシップ宣誓制度を導入することで、多様な価値観を認め合う社会の実現に取り組みます。 【男女共同参画推進事業】

⑤ 持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進

少子高齢化に伴う人口減少や地域の輸送資源・移動ニーズの変化を踏まえ、公共交通の再構築を進めるとともに、運転免許証を返納した方の移動に伴う負担を軽減するため、住民バスなどの拡充を図ります。 【運転免許証返納者支援事業】

⑥ 未来につなぐ震災伝承の推進

門脇小学校および大川小学校の2つの震災遺構を活用し、防災意識の向上を図るとともに、命を守る行動につながる取り組みを進めます。 【震災伝承事業】

2 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち

誰もが安心して暮らせる持続可能なまちを実現するためには、道路や下水道などの生活基盤の充実に加え、近年、頻発化・激甚化する自然災害の被害を最小限に抑える都市形成が重要です。人口減少社会を見据えた都市機能と石巻市が誇る豊かな自然環境とが調和した、快適でやすらぎのあるまちづくりを目指し、次の各施策に取り組みます。

① 豊かな自然環境の保全・生活環境の充実

石巻市が目指す環境の実現に向け、市民・事業者・行政が意識を共有し、それぞれの役割を果たしながら協働する取り組みを推進するとともに、2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す、「ゼロカーボンシティ・石巻」の実現に取り組みます。 【環境政策推進事業】

② 持続可能な社会を目指すごみの減量化と資源循環の推進

家庭ごみの更なる削減を図るとともに、プラスチック類の再資源化を進めることでリサイクル率の向上を目指し、循環型社会の実現に取り組みます。 【ごみ収集および資源化事業】

③ 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進

国際拠点港湾「仙台塩釜港石巻港区」における耐震強化岸壁の整備が進められています。定時性・高速性に優れた三陸沿岸道路や石巻新庄道路といった高規格道路の整備・計画検討が進んでいる優位性を活かし、陸路と海路の結節点である石巻港を核とした物流拠点都市の形成を目指します。 【仙台塩釜港石巻港区利用促進事業】

3 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち

全ての市民が健康で安心して暮らすためには、医療・介護の連携強化をはじめ、人材の確保・育成や健康増進に向けた取り組みを着実に進めることが重要です。誰もが住み慣れた地域で生きがいと役割を持ち、自分らしく暮らせるまちづくりを目指し、次の各施策に取り組みます。

①安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実

地域の宝であり、市の宝である子どもたちが、健やかで幸せに成長できる「こどもまんなか」社会の実現に向け、子どもや子育て当事者などの声を丁寧に伺いながら、安心して過ごせる居場所の充実や環境の整備を進めるとともに、石巻市への誇りや愛着、地域社会との関わり意識の醸成に取り組みます。

【こどもまんなか推進事業】

②生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実

高齢者が住み慣れた地域で、健康的な日常生活を送ることができるよう、地域の集会所などを活用し、心身機能の低下防止に取り組みます。

【介護予防事業】

③共に安心して暮らせる障害福祉の充実

障害のある方が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、本人の自立や社会参加を支援するとともに、障害のある方やその家族からの相談に丁寧に対応し、必要な情報提供や支援を行える体制の充実に取り組みます。

【相談支援事業】

④誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進

東日本大震災により顕在化した、地域医療資源の偏在や産科・小児科医の不足といった課題に対応するため、地域に必要な医療機能の確保に取り組みます。

【医療施設開設支援事業】

⑤みんなが共に支え合う地域共生社会の実現

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、石巻市をはじめとする石巻圏域の自治体や医療機関が一体となり、地域医療連携の構築に向けた共同の取り組みを推進します。

【ヘルスケアネット構築事業】

4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち

少子高齢化の加速に伴う生産年齢人口の減少や気候変動による自然災害の頻発、さらには物価高騰の影響など、複合的な課題に直面している状況を踏まえ、地域資源の活用や販路の拡大、担い手の確保・育成をはじめ、企業の経営体質強化や新たな価値の創造など、稼ぐ地域づくりの推進に向けて、次の各施策に取り組みます。

①賑わいと活気にあふれる商工業の振興

中心市街地に点在する空き地や空き店舗を活用した取り組みを後押しするとともに、新規出店希望者に対する総合的な支援を行い、魅力ある店舗や人が集う居場所を増やすほか、中心市街地でのイベント開催への支援を通じた交流人口の拡大に取り組みます。

【中心市街地賑わい創出事業】

②持続可能な漁業・水産加工業の振興

海洋環境の影響を受けにくい陸上養殖の普及を促進するため、陸上養殖に参入する事業者の取り組みを支援するとともに、他産地との競争が激化する中において、同一魚種との差別化を図るため、水産物の品質向上と安全安心の確保に取り組みます。

【陸上養殖システム導入支援事業、石巻産水産物ブランド創出事業】

③魅力的な農林畜産業の振興

国内外で拡大する有機農産物市場に対応するため、「石巻市オーガニックビレッジ」を宣言しました。生物多様性の保全や環境負荷の低減、資源循環の促進に資するオーガニック農法の普及・拡大に向けた取り組みを推進します。

【有機農業産地づくり事業】

④地域資源を活かした観光事業の振興

石巻市の特産品を全国に広くPRし、販路拡大と販売促進を図るため、県外で開催される物産展などのイベントに参加する事業者に対し、参加経費の一部を支援することで、地域経済の活性化を推進します。

【物産展等参加支援補助金事業】

⑤企業誘致の推進と新たな産業の創出

産業の対応力強化と雇用創出を図るため、積極的な企業誘致活動に取り組むとともに、次世代放射光施設「ナノテラス」の活用促進など、先端技術の導入によるイノベーションや地域特性を活かした地域資源の付加価値向上と市場開拓を後押しすることで、地元企業の更なる発展を目指します。

【企業立地等促進事業、産業振興事業】

⑥未来の産業を担う人材の確保と育成

関係機関と連携を図りながら、一般、高齢者、高校生を対象とした合同企業説明会を開催するとともに、高校生のための企業見学ツアーを実施することで、求職者の就業促進や企業の人手不足の解消を図り、若者の地元への定着を促進します。

【雇用対策連携事業】

5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち

少子高齢化に伴う人口減少下において、地域経済を支える高い労働生産性を発揮できる人材の育成が不可欠であり、その礎となる児童・生徒の教育水準の向上は極めて重要です。未来を生きる子どもたちにどのような学びが必要かをしっかり考え、将来世代の育成に向けて、次の各施策に取り組めます。

①安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進

児童期から本を読むことの楽しさを知り、生涯にわたって本に親しむ読書習慣を身に付けてもらうため、全児童に配付したタブレット端末を活用し、児童が自主的に、いつでも、どこでも、好きなだけ、気軽に本を読むことができる環境づくりに取り組めます。【電子図書整備事業】

②社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実

タブレット端末を活用したデジタル思考ツールを導入し、思考力の向上を図るとともに、教員の指導力向上にも取り組むことで、リベラルアーツの礎の習得とその定着を進めるとともに、発達段階や学習環境の違いを踏まえ、児童・生徒一人一人が自らの可能性を発揮し、他者との共生を通じて自己肯定感とともに自己有用感を高められるよう取り組めます。【学力向上推進事業、学校わくわくプラン事業】

③いのちを守る防災教育の推進

児童・生徒があらゆる災害に直面した際にも、自らの命を確実に守り抜く力を身に付けられるよう、防災教育副読本を活用した授業の実践や復興・防災マップの作成などを通じて、災害対応力の育成に取り組めます。【防災教育充実事業】

④地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進

地域と学校が目標や課題を共有し、協働しながら子どもたちの成長を支える仕組みを構築するため、地域と学校が一体となって実施する教育活動や地域活動の充実に取り組めます。【コミュニティ・スクール推進事業】

⑤豊かな地域社会を育む生涯学習の推進

博物館における企画展や特別展の開催をはじめ、博物館講座やワークショップなどを通じて、市民に文化・芸術に触れる場を提供し、心の豊かさの醸成を図るとともに、次代を担う子どもたちの知的好奇心や探求心を育むための企画に取り組めます。【博物館企画展・特別展事業】

⑥生涯にわたるスポーツ活動の推進

市民が心身ともに健康で、いきいきとした豊かな生活を営むことができるよう、スポーツの持つ力を最大限に活用し、日常生活の中にスポーツに親しむ機会を広げることで、市民一人一人の多様なアクティブライフの実践と定着を促進します。【スポーツ振興事業】

6 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち

地域の多様な声に真摯に耳を傾け、市民の皆さんの思いを行政運営に的確に反映するための仕組みを構築することは、市民の視点に立った責任ある市政運営の実現を支える基盤となります。限られた行財政資源を最大限に活かし、堅実かつ健全な行財政運営の推進に向けて、次の各施策に取り組めます。

①市民に寄り添い信頼される行政運営の推進

これまで、市民の皆さんが行政に参画する機会を積極的に設けるとともに、皆さんの声一つ一つに真摯に向き合ってきました。「動く市長室」を地域の課題や要望を伺う場にとどめることなく、「地域の将来像を市民の皆様と共有しながら考える」対話を重視した取り組みへと発展させます。【広聴事業】

②持続可能な行財政運営の推進

限られた行財政資源をこれまで以上に集中的かつ効果的に活用していくことが重要です。持続可能な自治体経営を目指し、将来を見据えて行財政運営の最適化を図るべく、「石巻市行財政改革推進プラン2030」を着実に進めます。

むすびに

令和8年度は、6つの重点施策に、引き続き揺るぎない決意をもって取り組むとともに、現下の厳しい財政状況を乗り越えていくため、不退転の決意で行財政改革を進めていきます。

市民の皆さんと「情報」、そして「本市の目指す姿」への理解を深め、共有し、「事業の選択と集中」、「成果志向を重視した予算・事業編成」による責任ある市政運営を推進します。

東日本大震災からの復興に当たっては、全国津々浦々から多大な御厚意を賜りました。その御恩を胸に、オール市民で未来を切り拓き、市民一人一人が幸せと満足を実感できる「住むことに誇りが持てるまち、石巻」の実現に向け、全身全霊で取り組んでいきます。



石巻市長 齋藤正美